

KENWOOD

安全上のご注意

取扱説明書

M-616DV

© B59-1468-08/00 (J) LVT2120-010A
1211KMMMDWMTS

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 △記号は、注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

 ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

 ●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。(説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります)

警告

異常のときは

 **異常が起きた場合は電源プラグを抜く**
内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源コード・プラグについて

 **電源コードを傷つけない**
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定しない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)販売店または当社サービス窓口に変換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

 **電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む**
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して、火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となります。電源プラグを根元まで差し込んでみゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。

設置について

 **交流 100 ボルトの電圧で使用する**
この機器は、交流 100 ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

 **風呂、シャワー室では使用しない**
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

 **機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かない**
水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

 **機器の上でろうそくやランプなど火のついたものを置かない**
本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

使用について

 **水をかけたりぬらしたりしない**
火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

 **雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない**
感電の原因となります。

お手入れ

 **電源プラグを定期的に清掃する**
電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

注意

異常のときは

 **落下した機器は電源プラグを抜く**
機器を落としたり、カバーやケースが壊れたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

電源コード・プラグについて

 **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
感電の原因となることがあります。

 **電源コードを熱器具に近づけない**
電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近づけない。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

 **電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない**
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

設置について

 **不安定な場所に置かない**
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

 **湿気やほこりの多い場所に置かない**
油煙や湿気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。

 **温度の高い場所に置かない**
窓を閉め切った自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

機器に乗らない

 機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

 **移動させるときは電源プラグを抜く**
移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、スピーカーコード、その他接続コード類を全て外す。コードを抜かずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

 **機器の接続は取扱説明書に従う**
関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

使用について

 **長期間使用しないときは電源プラグを抜く**
旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となることがあります。

 **機器の内部に異物を入れない**
機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となることがあります。

 **機器のケースを開けたり改造したりしない**
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

 **ディスク挿入口に手を入れない**
手がはさまれて、けがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。

使用について

 **レーザー光源をのぞき込まない**
レーザー光が目当たると、視力障害を起こすことがあります。

 **ひび割れディスクは使わない**
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速に回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池について

 **電池の取り扱いに注意する**
次のことを、必ず守ってください。
・極性表示(プラス" +"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示どおりに入れる。
・指定の電池を使用する。
・使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出ししておく。
・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
・違う種類の電池を混ぜて使用しない。
・充電電池と乾電池を混ぜて使用しない。
・電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてたりしない。
・直射日光の下や火のそばなど、熱くなる場所に電池を置かない。
電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破壊する原因となることがあります。
電池を入れたままにしておく、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

 **電池は乳幼児の手の届かないところに置く**
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

音量について

 **はじめから音量を上げすぎない**
突然大きな音が出て、聴力傷害などの原因となることがあります。

 **耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない**
聴力に悪い影響を与えることがあります。

 **長時間音が歪んだ状態で使わない**
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

お手入れ

 **お手入れの際は電源プラグを抜く**
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。

 **定期的内部の点検、清掃をする**
3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄のサービス窓口にて費用を含めご相談ください。内部にほこりのたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

レーザー製品についてのご注意

- この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
- 注意** : 機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。
- 機器内部には、以下のラベルがあります。

CAUTION VISIBLE LASER RADIATION CLASS II LASER RADIATION WHEN OPEN, DO NOT VIEW DIRECTLY WITH THE EYE. OPTICAL INSTRUMENTS SHOULD NOT BE USED FOR OBSERVATION. REG-0089-2001	ATTENTION RADIATION LEVELS EXCEED CLASS II LIMITS WHEN OPEN, DO NOT VIEW DIRECTLY WITH THE EYE. OPTICAL INSTRUMENTS SHOULD NOT BE USED FOR OBSERVATION. REG-0089-2001	AVISO RADIACION LASER DE CLASE II CUANDO SE DESMONTA EL EQUIPO, LA RADIACION LASER PUEDE SER DAÑINA. NO MIREN DIRECTAMENTE AL EQUIPO. NO SE DEBE USAR INSTRUMENTOS OPTICOS PARA VER EL EQUIPO. REG-0089-2001	WARNING LASER RADIATION CLASS II LASER RADIATION WHEN OPEN, DO NOT VIEW DIRECTLY WITH THE EYE. OPTICAL INSTRUMENTS SHOULD NOT BE USED FOR OBSERVATION. REG-0089-2001	注意 レーザー光線は目や皮膚を照らすと有害です。 機器を開いたとき、レーザー光線が放射されます。 直接レーザー光線を見たり、レーザー光線が当たるものを覗いたりしないでください。 レーザー光線が目に当たると、失明の原因となります。 レーザー光線が皮膚に当たると、火傷の原因となります。 レーザー光線が衣類や家具などに当たると、燃焼の原因となります。 レーザー光線が可燃物に当たると、発火の原因となります。 レーザー光線が人体に当たると、健康被害の原因となります。 レーザー光線が動物に当たると、健康被害の原因となります。 レーザー光線が植物に当たると、健康被害の原因となります。 レーザー光線が水中に当たると、健康被害の原因となります。 レーザー光線が空気中に当たると、健康被害の原因となります。 レーザー光線が人体に当たると、健康被害の原因となります。 レーザー光線が動物に当たると、健康被害の原因となります。 レーザー光線が植物に当たると、健康被害の原因となります。 レーザー光線が水中に当たると、健康被害の原因となります。 レーザー光線が空気中に当たると、健康被害の原因となります。	CAUTION VISIBLE LASER RADIATION CLASS II LASER RADIATION WHEN OPEN, DO NOT VIEW DIRECTLY WITH THE EYE. OPTICAL INSTRUMENTS SHOULD NOT BE USED FOR OBSERVATION. REG-0089-2001
---	--	--	---	---	---

注意 : ここを開くと可視及び/または不可視のクラス 1M レーザー放射が出ます。光学装置で直接見ないでください。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近く
- 風通しの悪い狭い所
- 極端に寒い所
- テレビや他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所
- バランスの悪い不安定な所
- OA 機器やけい光灯のすぐそば
- 直射日光の当たる所
- 振動の激しい所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

データのお取り扱いについて

- 大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。
- 本機と接続機器間での再生のときに、データの消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞さください。

特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



保証とアフターサービス

保証書	出張修理／持込修理
<p>製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。</p>	<p>「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。</p> <ul style="list-style-type: none">製品名 製造番号（Serial No.） お買い上げ年月日 故障の症状（できるだけ具体的に） ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください） お名前、電話番号、訪問ご希望日
保証期間	保証期間が過ぎているときは
<p>保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。</p>	<p>保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。</p>
修理に関するご相談ならびにご不明な点は	修理料金の仕組み
<p>修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。（お問い合わせ先は、「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください。）</p>	<p>（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）</p> <p>技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。</p> <p>部品代： 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。</p> <p>出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。</p> <p>送 料： 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。</p>

補修用性能部品の最低保有期間
<p>当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。</p>
保証期間中は
<p>保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または当社サービスセンターが修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。</p>

ケンウッド全国サービス網

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスセンターへお申しつけください。

2011年12月現在

北海道			
札幌サービスセンター	☎ 004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	☎ (011) 807-3003
東北			
仙台サービスセンター	☎ 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎ (022) 287-0151
関東・信越			
さいたまサービスセンター	☎ 331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎ (048) 778-8714
千葉サービスセンター	☎ 277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎ (04) 7171-3800
横浜サービスセンター	☎ 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
八王子サービスセンター	☎ 192-8525	八王子市石川町2967-3	☎ (042) 646-6914
新潟サービスセンター	☎ 950-0913	新潟市中央区鏡1-5-23	☎ (025) 245-2177
東東京サービスセンター	☎ 135-0023	江東区平野3-2-6 木場パークビル1F	
(修理持込専用窓口) 電話でのお問合せはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにて承ります。			

中部・甲州			
名古屋サービスセンター	☎ 481-0041	北名古屋市九之坪鴨田121-1	☎ (0568) 24-1644
静岡サービスセンター	☎ 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	☎ 921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎ (076) 269-2935

近畿・四国			
大阪サービスセンター	☎ 532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28	☎ (06) 6390-8005
高松サービスセンター	☎ 761-8057	高松市田村町205-1	☎ (087) 802-6055

中国			
広島サービスセンター	☎ 730-0825	広島市中区光南3-9-17	☎ (082) 241-0023
九州			
福岡サービスセンター	☎ 812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F	☎ (092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	☎ 891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	☎ (099) 268-0030
沖縄サービスセンター	☎ 901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎ (098) 898-3631

- サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間　10:00～18:00(土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
<ul style="list-style-type: none">商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
<p>フリーダイヤル 0120-2727-87 携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950　FAX 045-450-2308 受付時間　月曜～金曜　9:30～18:00 　　　　　土曜　　　9:30～12:00、13:00～17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）</p>
<p>住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12</p>

<p>お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。</p> <p>この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。</p> <ul style="list-style-type: none">お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害
